

岸和田市郷土文化室（自然資料館・郷土資料館）

平成 16 年 4 月

自然資料館の貸出資料いろいろ

風間 美穂

自然資料館は、標本や資料だけではなく、理科機器や学習セットも所蔵しています。数や種類は博物館施設としては多くありませんが、中には貸出可能のものもあります。今回は、これらのなかでも、特に昨年度、貸し出し回数が多かった資料などについて紹介します。

・ 貸し出し回数№1！「化石のレプリカづくりセット」

化石レプリカ作成用のシリコン型 59 個をセットにしたもので、簡単な説明や、作り方シートがついています。型の種類は 11 種類で、岸和田周辺から発見された二枚貝化石やキシワダワニの歯、外国産三葉虫やサメの歯など、多岐にわたっています。

使用方法是、水で濃い目に溶いた石膏を型に流し込み、固まったら型から外すというもので、絵の具やニスで彩色すると、本物そっくりのレプリカができます。実施時間は、石膏がかたまる時間を入れて 2 時間程度と考えていましたが、実際に利用された先生によると、一度に多くの児童や生徒が実施する場合、プラス 2 時間程度の余裕を持ったほうがよいようです。

このセットは、平成 12 年度の文部科学省委託事業「親しむ博物館づくり事業」で未就学児童用に作成したものだったのですが、昨年度に、国立科学博物館と共催実施した教員研修で紹介したのをきっかけに大人気となり、岸和田・貝塚・泉南・阪南・堺・松原・大阪市内の小・中・高等学校の理科学習や総合学習・クラブ活動で活用されました。



↑ 化石のレプリカづくりセット

・ 貸し出し回数№2！「実物化石・鉱物セット」

これも、「親しむ博物館づくり事業」で作成したもので、岸

左からアンモナイト、キシワダワニの歯、モササウルス類の歯

和田周辺産の化石・世界を代表する化石・美しい鉱物・工業原料の鉱物といったテーマ別に、実物標本をセットしています。実物標本を系統的に見せることが出来るという点から、主に小学校 6 年生、中学校 1 年生の地学の学習で利用されました。

セット中の標本は、見るだけではなく、指導者の方がついてくだされば、さわったり、持ち上げたりすることも可能なので、細部の観察が各方向からできます。授業で利用された先生によると、このセットを使用したクラスでは、地質や化石に対する興味が他のクラスにくらべて増大したとのこと。そのため、学習の導入部分で利用すると良いのではないかと、というご意見もいただきました。



↑ さわれる鉱物セット

ただし、このセットは「珍品博覧会」的に子どもたちにさわらせるだけでは、活用しているとはいえません。先生方には、実物標本からどのような学習効果を求めるか、よく考えて利用していただければと思います。これは、当館のどの貸出資料に対しても言えることです。

こんなものも貸し出しできます！

学校の授業で活用できるかどうかは分かりませんが、以下の資料も貸出可能です。どうぞご検討ください。

- ・ 過去の特別展で作成したパネル・模型類

自然資料館の特別展で展示するパネルや模型は、すべて職員による手作りで、展示終了後も大部分が保管されています。これらの貸出は従来想定していなかったのですが、先日、大阪湾漁業の学習で、平成 14 年度の特別展「海と魚と大阪湾」で展示された漁法模型（イワシ巾着網や底引き網のモデル）を借用希望された小学校がありました。実際使用された結果、絵や写真で説明するより子どもたちの理解がえられたと好評だったので、これらも貸出対象とすることにしました。

そのほか、大阪湾に生息する生物・和泉山脈で見つかる化石・身近な生物や、神於山の里山についてのパネルもあります。資料によっては少々色あせているものもありますが、利用を希望される場合は一度ご相談ください。

- ・ 自然に関する絵本やよみもの類

自然資料館には、自然に関する一般向け図書や絵本類が 300 冊以上あります。一般向けの貸出は行っていないですが、学校教育関係で、先生方が授業で利用される場合は、貸出しすることができます。

そのほか、当館には双眼鏡、フィールド用低倍率顕微鏡「ファール」などの理科機器類、当館主催の自然観察会の参加者用に作成した、身近な自然の手引き書（和泉葛城山・神於山・蜻蛉池公園周辺・久米田池・意賀美神社・和泉層群の化石など）があります。

とはいうものの、こういった資料が学校で活用されやすいのかということについては、当方では十分に把握しているわけではありません。一度これらの資料をごらんになったうえ、活用を検討していただければ

ば幸いです。また、「こういう活用ができたよ」などの報告などもいただければ、本誌誌上でも紹介していきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いします。

(かざまみほ：自然資料館)

教材としての古文書

山中 吾朗

「古文書は博物館の展示には向かない」と博物館業界内でもよく言われます。一目見ただけでは資料の情報がイメージできないことが、その最も大きな理由です。

確かに、まず何が書いてあるか一般にはわからないでしょう。仮に文字が読めたとしても、和漢文で書かれていれば、読み方がわからない、仮名書きのものでも、古文に精通していなければ、やはり正確な意味がわからない、などなど、古文書を読みこなし、その意味を正確に理解するためにはかなりの修練と知識を必要とします。

大人でさえ難しい古文書ですから、ましてや小中学生の学習に古文書を用いるなど到底不可能だと考えておられる先生も多いと思います。しかし、最近、こうした「常識」に挑戦する試みが歴史博物館や資料館で、少しずつですが始められてきました。筆者が最近見聞した事例を次に紹介します。

一つは、大分県立先哲史料館の事例です。同館では、夏休みの事業の一つとして、子供対象に古文書講座を開催しました。当然ながら、単に古文書のコピーを渡して、読んでみましょうということではありません。まず比較的短い文章で、内容が単純明快な文書を選びます。次に、文書に書かれた文字を一字ずつ小さな紙にコピーし、くずし字の横に現代の活字を記した紙片を子どもたちに渡し、文書のコピーを見ながら文字を順番に並べる、というものです。言ってみれば、パズル感覚で子供たちに古文書に親しんでもらおうというものでした。

もう一つは、三重県の亀山市立歴史博物館の事例です。ここでは、漢字を^{へん}と^{つくり}に分解して、それぞれのくずし方を説明した上で、子どもたちにいくつかのくずし字を古文書のコピーの中からさがさせました。例えば「池」であれば、まず、^{さんずいへん}三水偏のくずし方を見せ、次に「也」のくずし方を見せる。そしてこの文字が「池」であることを示した後に、古文書のコピーの中から「池」をさがさせる。更に、「也」もすでに子どもたちはくずし方を覚えているはずなので、「也」もさがさせるのです。同様に「紙」「住」「持」などいくつかの平易な漢字のくずし方を示して、古文書の中から文字を探すことを繰り返し、古文書に少しでも親しみをもってもらおうというものでした。

もちろん、こうした方法で古文書が読めるようになるわけではないのですが、大人が想像する以上に、子どもたちの反応はよかったそうです。こどもたちは、くずし字を記号として認識し、パズル感覚で古文書解読に取り組んだようです。また、こうした学習を通じて、古文書への親近感や漢字に対する理解の深化、更には古文書を書くことの意味や、古文書が現代まで残されてきたことの意味を考えさせるきっかけにもなるのではないのでしょうか。

これらの事例は、工夫次第では十分、古文書も教材として活用できることを教えてくれました。もし、実験的にでも一度試してみたいということであれば、いつでもご相談ください。

(やまなかごろう：郷土資料館)

Information

■ 自然資料館・郷土資料入館料変更のお知らせ ■

2004 年 4 月 1 日より、自然資料館および郷土資料館の入館料が変更され、小中学生の入館料が無料になりました。おとなに関しては、これまで同様、個人 200 円、団体 140 円です。

ぜひ、この機会にきしわだ自然資料館、郷土資料館へご来館ください。

■ 自然資料館からのお知らせ ■

■ 平成 16 年度出前授業連携校募集

「郷土の化石大探検！キシワダワニとモササウルスを科学しよう！！」

自然資料館は、JST（科学技術振興機構）の助成「地域科学館連携事業」を受け、郷土から産出した大型化石「キシワダワニ」と「モササウルス」を対象とした出前授業プランを作成します。

実物標本や機器類を用いた演示教材のほか、レプリカ作成セットなどの学習教材を開発し、小学 5 年～中学 1 年生を対象に出前授業を行って、地学をはじめとする自然科学への理解を深めたいと考えています。つきましては、実際にこの出前授業を受講するクラス・学年や、これらの演示教材作成にあたっての計画に関わるワーキングチームの構成員を近日募集します。子どもたちの理科ばなれを少しでも食いとめたいと考えている学校の先生方には、ぜひご応募いただきたいと思います。

・実施期間：平成 16 年度中・出前授業は 10 月下旬から実施予定

・募集校：小学校 2 校・中学校 2 校のそれぞれ 1 学年分程

度（1 学年あたりの児童・生徒数が 100 名あるいは 3 クラス以上の学校は、クラス単位で応募してください）

詳細は、別途ご案内する予定です。

■ 郷土資料館からのお知らせ ■

■ 春季特別展「谷に刻まれた文化」

岸和田市域にある山直谷・尾生谷・阿間河谷の地域を取り上げ、各谷地域での発掘調査成果を主に、それぞれの地域に関わる文化財を紹介します。

・会期：3 月 18 日(木)～ 5 月 9 日 (日)

・会場：岸和田城天守閣 1 階展示室

・時間：10 時～17 時（入場は 16 時まで）

・入場料：大人 400 円・小中学生無料

・休館日：月曜日（ただし、4 月 5 日・12 日、5 月 3 日は開館します）

・主な展示品

山ノ内遺跡出土の縄文土器

三田古墳出土の三葉環頭大刀

尾生遺跡の五角形竪穴住居推定復元模型

風吹山古墳出土の銅鏡

流木町出土の銅鐸 など

お願い [fromM]は、学校教職員に 1 部ずつお配りください。担当の方はお忙しいところ申し訳ございませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしております。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記のところまでお送りください。電子メールでも受け付けております。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館

TEL (0724)23-8100 FAX (0724)23-8101

Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp

自然資料館ホームページ URL:

<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/sosiki/k-nature/>